

▲ 矢印の方向に
お入れください

0 1 5 10 30 50

先生



富永組

ありがとう

©NTT ホワイテレホンカード50



患者さんの権利と責任

一、適切な治療を受ける権利

二、人格を尊重される権利

三、プライバシーを保証される権利

四、医療上の情報の説明を受ける

権利

五、関係法規や病院の諸規則を知

る権利

など

—これらの人向としての倫理原則を
お互いに大切にしなければならぬ。

しかし、患者さんも、病院から指示され
た療養については、専心これを守るこ
とを心がけねばならない。

医師と協力して療養の効果をあげる
ことこそが大切なのである。

一九八三年一月 佐久総合病院

偉史の寝顔を見ても、去年の夏流産してから本当に良かったと
つくづく思います。

適切な処置はちろんのせと、長い入院生活の間、毎日親切に接して下さいに
こそ、どんなに人の支えに成ったか知りません。

心より感謝しております。 本当にありがとうございました。

本年も いよいよ押し迫ってまいりました。

先生、お変わりございませんか。私、平成元年
6月より翌年7月迄、北九州総合病院にて、不妊の
治療を受けており、治療中止後の今年2月末、
先生に妊娠の診断を受けました。この記憶に
ございませうか。その後、主人の転勤で
こちらに引越してから、経過は順調で、
体重の増加は出産当日迄に普段より
4kg増で済みました。予定日より20日早い
10月2日に破水してしまっ、た為、出産という事に
なりました。分娩所要時間3時間50分と
とても安産でした。赤ちゃんは2352gの
男の子で、体重が2500gに近づき、20日間
入院してまいりましたが、小さい事を除けばとても
元気で、2ヶ月を経て12月2日現在3720gに
なりました。私自身も母乳の出がよく、産後の
経過も良好です。

先生には長くお世話になりましたので、遅くなり
ましたが、お礼かたがたに 出産の報告をさせて
いただきます。本当にありがとうございました。
先生もお身体を大切にお元気で過ごして下さいませ。

林谷先生へ

母の葬儀も、無事 終え、初七日も 過ぎました。

先生には、本当に、最初から、最後まで、お世話に
なり、心から、御礼申し上げます。

暖かほ、励ましの言葉に、最善の治療をして
いただきました。

母は、心から、林谷先生が 担当医で 良かったと、
申しておりました。

私達、家族にも、ことこまかく 病状や、治療方針
を、その都度 お忙しいのに 時間も 作って
いただき、感謝しています。

亡くした母の顔は、少し、ほほえんで、安らかな 少女の
ようでした。私にとって、この入院生活は、とても 貴重な
時間でした。

たくさん、いろんなことを、学ばせてもらいました。

母は、強い人でした。前向きで 頑張り屋でした。
私は、生きる姿勢も、学びました。

病気に負けたとは、思いません。

人生を 精一杯 生きたと、誇らしく 思っています。

先生も、職業柄、お忙しい、毎日、大変
でしょうが、これからも、ますます 活躍
なさいますように。

本当に、ありがとうございました。
心から 感謝しています。













竹組のリレー選手たち。前の列まんなかがサダコさん。

(1954年10月、撮影:野村 ^剛 (サダコさんの担任の先生)提供:佐々木繁夫)

CTMS



あんぜんを
たしかめてわたろう

やがねのりげは、
 がもちですふたを
 かちやかちやもち上げ
 ます。きようは、しの
 ひろばをきまし
 た。おとうさんか
 ね。ようこそよ
 り。

おねん
 ナミアン

総合

日本損害保険協会

H 0.12.17. (土)

第3種郵便物認可

11月の特選
① 月にみえる、ふかりはしい
② 加害者に 罪の意識が ない
③ 不毛な絶望

若い世代

「集団虐待」が いじめの実態

北九州市 山根源太郎 (浪人中 19歳)

「いじめ」という言葉をもう使わないでほしい。「いじめ」という言葉は、未成年が犯す罪を、大人たちが「子供のおいた」の延長線として、肯定しているように思える。

子供たちは、あくまで「おいた」で済ませようとす
る大人たちの姿勢を、敏感に感じ取っている。
だから加害者は、「いじめ」を罪と思わず、被害者は、大人に訴えようとしな
いで、ひたすら隠れようとする。

たとえば、訴えたところで、「子供のおいた」で処理されるので、何の解決にもならないことを、よく知っているのである。
確かに大人社会の刑罰を、そのまま子供社会に適

用するのは賢明ではないかも知れない。人として未熟である加害者の将来を、守ることも大切なことである。

しかし、肝心の被害者の将来を守っていないことを忘れてはいないか。「いじめ」という言葉は加害者の将来を守っている。逆に被害者はその言葉のために、加害者を訴える手段を失い、一人泣くしかないのである。

私は、現代の「いじめ」が「子供のおいた」でないことを世間に定着させ、「いじめ」という言葉で虐

げられる子供を救うためにも、「いじめ」を「集団虐待」と表現すべきだと思う。

生徒愛せる人 教師になって

佐賀市 一ノ瀬ひとみ (高校生 16歳)

大河内清輝君の自殺に、だれもが胸を締めつけられたと思います。本当に残念で可哀しい気がします。加害者の学校、親子は清輝君が苦しみのどん底で味わった苦しみ以上に苦しんで下さい。

学校や大人たちが逃げるのを私たちは見逃してはいけません。

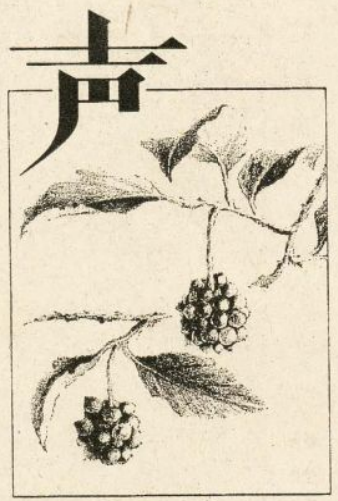
今の日本は、教育に関しては「大きい物にはふたをしろ」という考えが根付き

過ぎていてのではないでしょう。私の場合もそうです。真剣に解決にあたってくれた教師はだれもいませんでした。皆、うわべだけです。

教師にふさわしくない教師、自分の子供にさえしつけない大人がいる限り、「いじめ」は消えませぬ。

自分の子供がいじめにあっていないか、いや、と、いった狭い見ではなく、もっと広い目で見渡して下さい。そして本当に生徒を愛すことのできる人が、教師になって下さい。

青春といわれるこの時期に、いじめに苦しみ、歪(ゆが)んで育ったのは、二十一世紀の日本は、まさに「いじめ大国」になってしまっているのではないのでしょうか。



〈サネカズラ〉



H6.11.15
天声人語

知識を詰め込

むのに忙しく、
のんびり遊んで
いられない子が
昨今は多いらし
い。情報や知識

を頭に入れるのも結構だし
必要なことだが、人間には

知恵も大切だ▼学生時代に

教師から聞いて記憶に残っ

ているのは、たいてい、教

師がなにげなく口にした、

その人生の中から生まれた

知恵の言葉ばかりである。

情報や知識なら書物の中か

らも取り出せる。とくに中

学生のために、学科だけを

勉強しているのはもったい

ない。人間として広い分野

に関心がひろがり、興味が

ふくらむ時だ▼物の見方、

考え方、感じ方に深みや厚

みを加えるのを手伝ってく

れる「メンター」（師）に

出会うかどうかは、おおげ

さにいえば、一生に大きな

影響を及ぼす。そういう先

生に、子どもたちはめぐり

合えているだろうか▼「こ

ころを育てる 私の「人間

科」授業」という本は、広

島県の公立中学校で理科を

教えてきた八ツ塚実さんの

講義録である。今も各地の

学校で教えている。八十に

上る講義の主題は身近なも

ので、第一講は教室の「笑

い」についてである▼笑う

のは楽しいが、これほど恐

ろしいものもない、と八ツ

塚さんは言う。笑いは、差

別と隣り合わせで成り立っ

ているからだ。「アツと笑

い」は感動の笑い、「ドッ

と笑い」は差別の笑いであ

る。二つをごちゃ混ぜにし

て楽しがっていると、教室

の中にさげすみの芽がはび

こる……▼そして、どうい

ろ時に笑うかを書き出して

笑いの意味を掘り下げとい

る。以下、主題は実に多様

である。イソップを読ん

人間の理性について考え、

人生の最初と最後の呼吸に

ついて学び、「手で見ると絵

本」に触って社会を考え、

自分の宝物は何かを話し合

い、「ここから先は自分の

責任で行って下さい」とい

う観光地の立て札から生き

方を考え……▼縦横無尽の

授業ぶりだ。子どもたちの

世界は、おおいに刺激され

て、広がるに違いない。

中村さんは結論のように、

「恋という情念は人間に生命
力を与え……」と書いておら
れるが、たまたま同日の毎日
新聞に山口香さんの同じ趣旨
のことばが出ていた。バルセ
ロナの柔道世界選手権で、金
メダルの実力がありながら惜
しくも逃した田辺陽子選手へ
のアドバイスである。彼女は
専任のコーチもなく独りで頑
張っているが、「自分のこと
を理解してくれる人の存在っ
て本当に大切です……彼氏を
作るのもいいことなんです。
私の周囲には、恋愛をしてか
らめきめき強くなった人がい
っぱいいます」

天声人語

H5.7.18

ひとは異性の
相手をどのよう
にして選ぶか。
これはなかなか
興味深い問題で
ある。見合いか

ら帰った知り合いの若い人
が「条件はいいけどフィー
リングが合わなくて」など
と言っている▼最近の米誌
『USニュース&ワールド
レポート』に、相手選びに
ついての記事があった。世
界各地で一万人以上を対象
に調査をしたら、こういう
傾向がわかったそうだ。男
性は女性より、一貫して相
手の身体的魅力と若さを価
値があるものと考え、女性
は男性より、一貫して相手
の野心、地位、資力などに
関心を抱いている▼この傾
向がどうい文化の中でも
一様であることから、こう
いう選択基準は石器時代か
ら人間の心理に根づいたも
のだろう、と学者たちは考
えているという。男性が相
手を見て判断しようとして
いるのは健康と繁殖力だと
いうのである▼「ミス・ア

メリカ」に選ばれる人は、
この数十年の間にやせ形に
なったが「ウエスト・ヒッ
プ比」は昔と変わっていない
という報告もある。ヒッ
プがウエストより三分の一
ほど大きい「適正比」が、
多産の条件となるホルモン
のバランスを表しているの
だそうだ▼説の当否につい
ての感想は様々だろう。社
会の風俗や生活様式はいろ
いろに変化しても、動物と
しての人間は、大昔から、
動物がふんふんと相手の体
をかきまわるのと同じよう
に、遺伝子の命令に従って
相手の選択を続けてきたの
かも知れぬ▼考えてみれば
人生は選択の連続である。
その日その日の行動に始ま
り、相手を、友人を、仕事
を、学校を、自分なりの基
準と判断に基づいて選びと
ってゆく。この夏、仕事を

H11.5.14 (2)

天声人語

心臓移植は、
生とは何か、死
とは何か、いの
ちとは何だろ
う、と考えるよ
すがにもなる。

評判の絵本『葉っぱのフレ
デイ―いのちの旅』（童
話屋）を読んだ▼フレデイ
は、大きな木の太い枝に生
まれた葉っぱだ。数えきれ
ないほどの葉っぱに取り囲
まれながら、はじめフレデ
イは、どの葉っぱも同じよ
うなものだと思っていた。
でも、やがて、一つとして
同じ葉っぱはないことに気
がつく▼春から夏、夏から
秋。フレデイと仲間は、生
き生きと暮らす。しかし、
ある晩、寒さがやってく
る。葉っぱたちは一気に紅
葉し、そして冷たい風が襲
う。「こわいよう」。みん
な、おびえる。引越しの
ときが来たのだ。葉っぱた
ちはひとり残らずいなくな
るのだ▼それは死ぬという
ことだ、とフレデイは思
う。死ぬのは怖い、とて
も。「でも考えてごらん」
と大きな葉っぱのダニエル
が言う。「変化しないもの
は、ひとつもないんだよ」。
変化するって自然なことな
んだ。死ぬというのも変わ
ることの一つなんだ……で
は、いのちとは何だろう、
とダニエルの話は続く▼作

者のレオ・バスカリアは
アメリカの哲学者。去年の
秋からすでに十三刷を重
ね、十六万部が売れた。寄
せられた一千枚近い読者カ
ードには、たとえば、こん
なことばがある。へ老人病
院で介護を仕事としていま
す。何人もの方が亡くな
り、そのたびに考えます。
どこへ行くのか、と。読ん
でみて、こみ上げてくるも
のがありました▼へ本当
に難しい問題ですが、神様
から与えてもらった時間を
私たちは精いっぱい生きな
ければならないと思いまし
た▼と、そんな感想もあっ
た。……フレデイは枝を離
れ、雪の上で眠りにつく。
つぎの春。枯れ葉のフレデ
イは土にとけ込み、木を育
てる力になる。ダニエルの
言った通り「いのち」は永
遠に生きるのだ▼「輪廻」
ということばも思い出す。